

旭化成 × Patlytics：生成AIで知財調査を「数ヶ月」から「数時間」へ

旭化成は、知財部門における侵害調査をPatlyticsで刷新。膨大な時間を要した作業を劇的に高速化し、DX戦略と知財インテリジェンスの高度化を推進。

劇的な効率化と成果

調査期間を「数ヶ月」から「数時間」へ短縮

従来の手作業による検索や照合をAIが代替し、
分析スピードを圧倒的に高めました。



導入前（手作業ベース）：数ヶ月
AIによる自動抽出・マッピング
により作業を効率化。

導入後（Patlytics活用）：わずか数時間
従来の手作業による検索や照合をAIが代替し、
分析スピードを圧倒的に高めました。

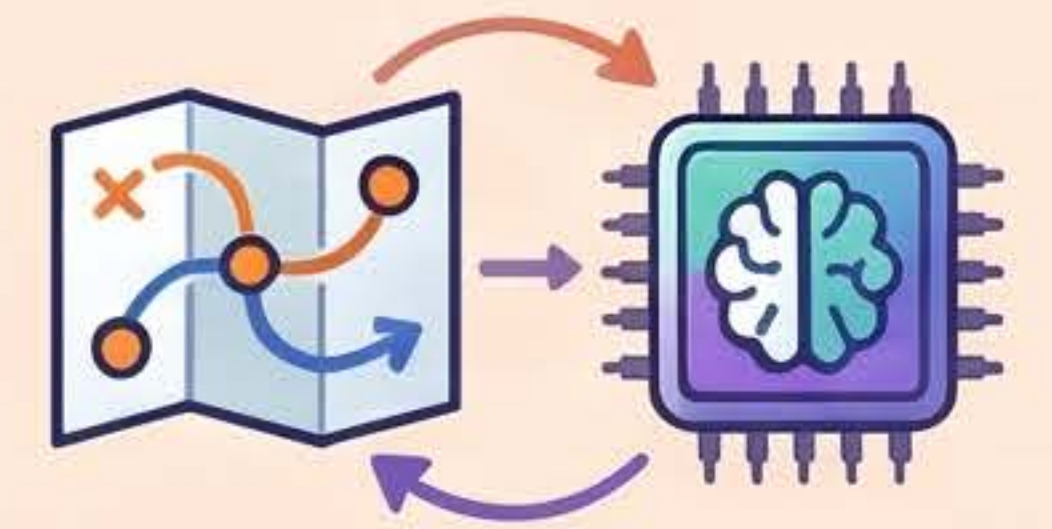


レポート1件あたり最大5,000ドルの節約
侵害検知レポート1件ごとに、1,000～5,000米ドル
のコスト削減効果が示されています。



高精度なエビデンス（EoU）の自動生成
特許クレームと製品特徴を突き合わせる高度な
マッピング分析をAIが支援します。

戦略的背景と運用の信頼性



旭化成の「DX・生成AI方針」との合致
全社で推進する無形資産活用とAI普及の
方針に沿った戦略的導入です。



ライセンス戦略グループによる高度な活用
権利行使や防御判断のための材料収集を、
専門組織が中心となって主導しています。



企業要件を満たす強固なセキュリティ
SOC 2 Type 2準拠かつ、顧客データをモ
デル学習に使用しない安全な環境です。